

女子学生を増やそうPJ

エンジニアリングデザイン 最終発表会
2014. March. 4. Tue.

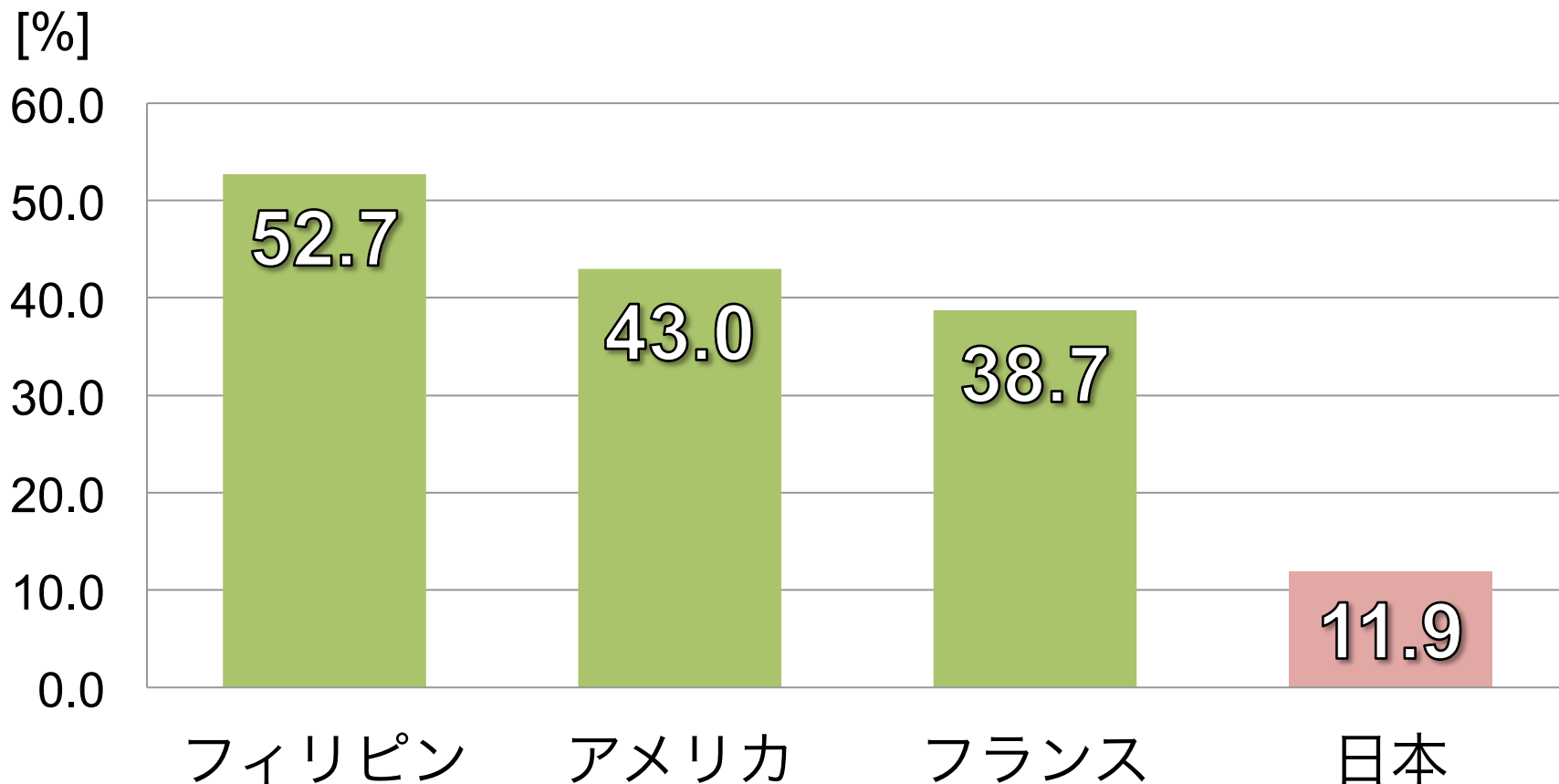
石向大輔 筒井悠平
西村俊一 渡辺 宇
TA 新妻直堯
非常勤講師 中山良一先生

日本の女性管理職比率

11.9%

(2011年 総務省 「労働力調査」)

各国の女性管理職の割合



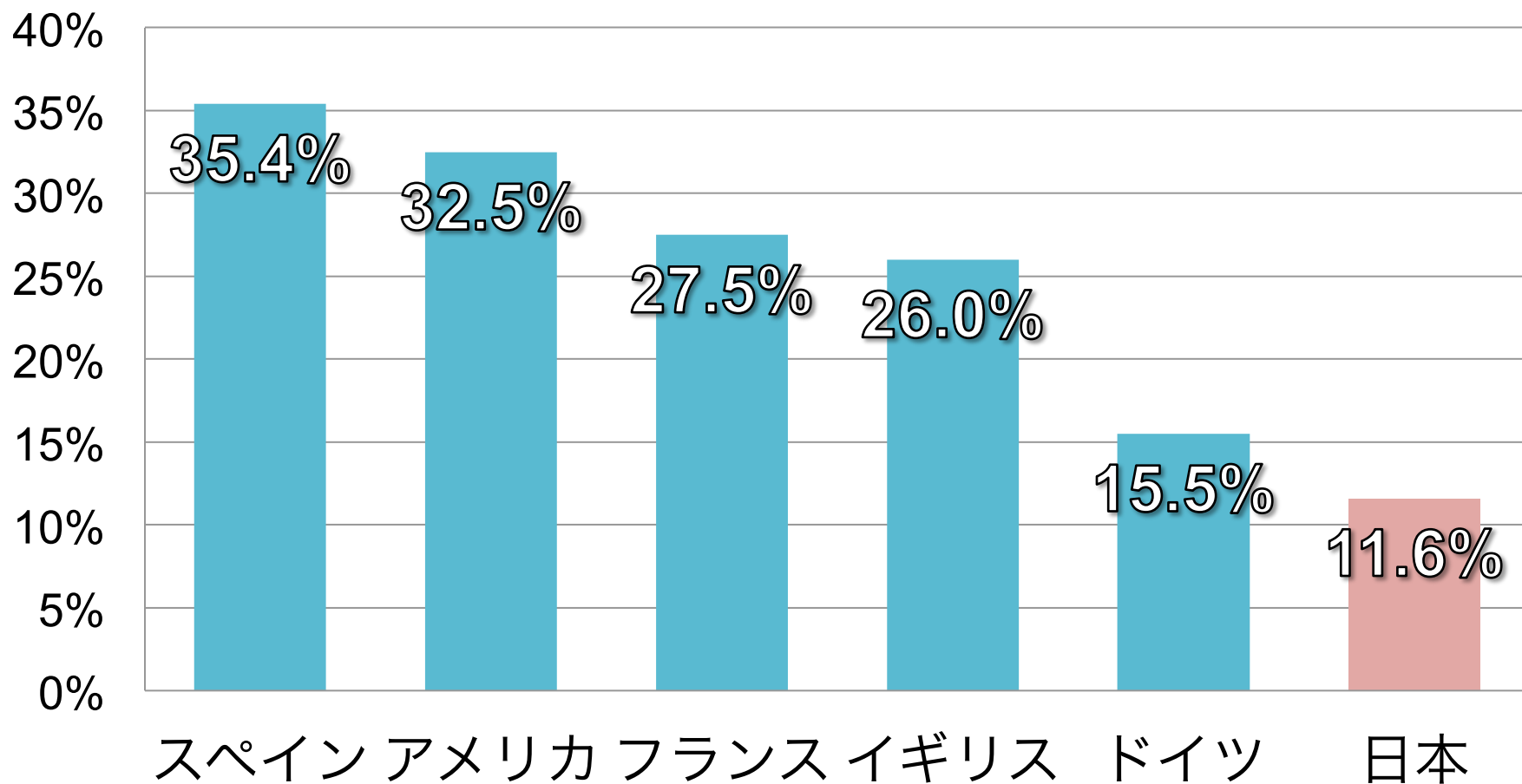
総務省「労働力調査（2011）」、
（独）労働政策研究・研修機構『データブック国際労働比較2013』より

「男女、国籍を問わず多様な人材がいてこそ新しいアイデアが生まれる」

日本IBM 橋本孝之社長
日経WOMEN 2012年6月号より

社会は女性の力を欲している

各国の女性研究者の割合



「平成17年男女共同参画白書」より

国の動向

我が国が国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れた研究活動を活性化するためには、**女性研究者**の能力を最大限に発揮できるような環境を整備し、その**活躍を促進**していくことが不可欠

(2010年 第3次男女共同参画基本計画より)

日本も女性研究者の力を欲している

電通大の動向



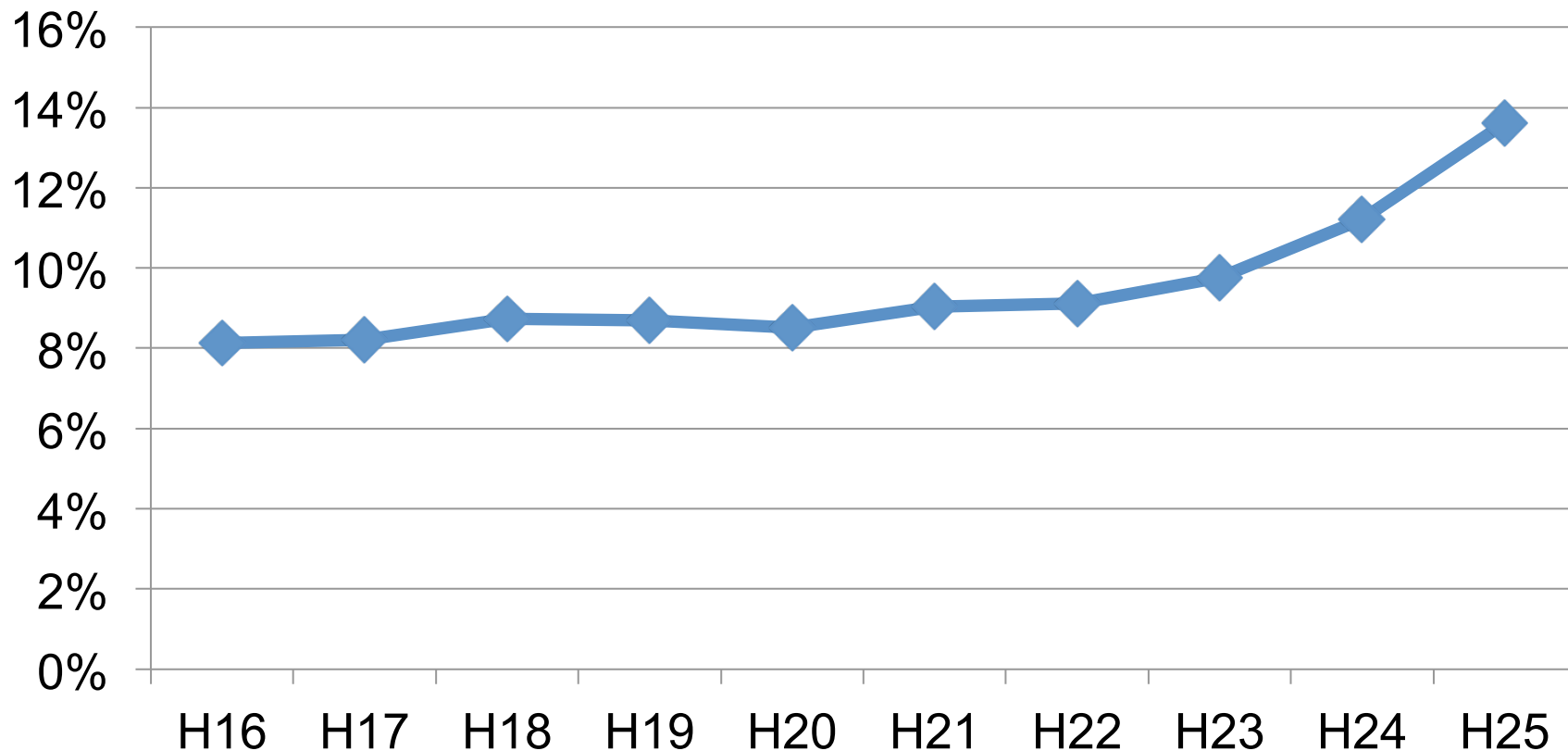
本学への入学を希望する**女子学生**を増加させるために積極的な広報活動を展開する。例として、電通大主催による女子高生夏の学校やサイエンスキャンプを実施し、理科系学問の面白さを伝えるとともに...

(UECビジョン2018)

電通大は女子学生を欲している

電通大は女子が少ない

電通大受験者の女性比率



「電気通信大学 入試データブック」より

まずは大学から

社会で活躍する理系女子を増やすためには
理系の女子学生を増やす



女性受験者数の増加

目標

- ◆毎年約3000人が電通大を受験
- ◆OC来場者の約25%が女子

女性受験者数

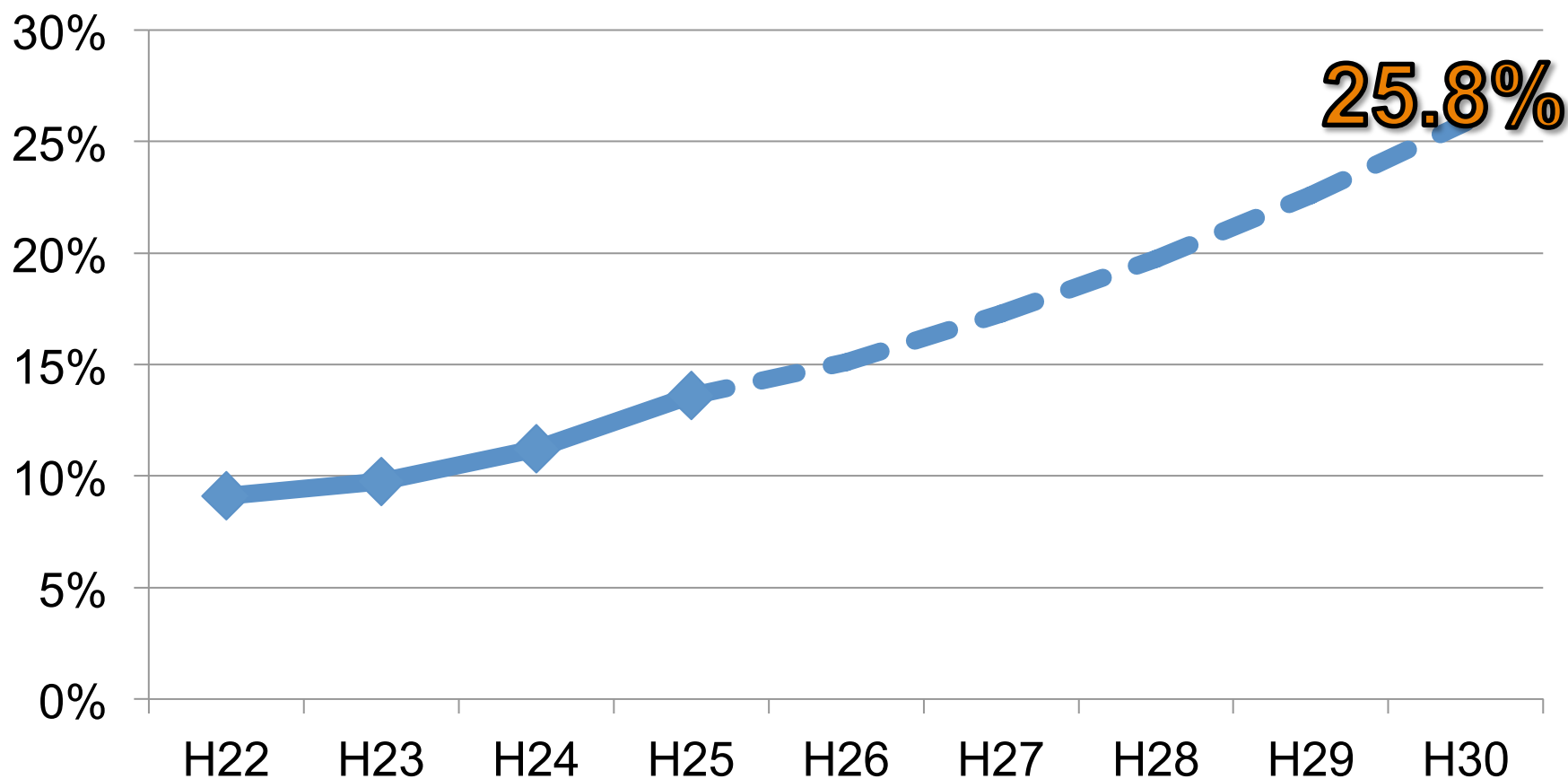
H25年度 417人 (13.6%)



750人/3000人

目標

電通大受験者の女性比率（予想）



本PJの位置付け

◆ 目標の実現のため.....

【実質的なゴール】

学生目線で大学に
“提言書を提出”すること

スケジュール

5月	テーマ決定	10月	最終目標決定
6月	現状調査	11月	アンケート
7月	↓	12月	懇談会準備
8月	BS ↓	1月	↓ 実施
9月	仮説立て	2月	最終まとめ

- ◆電通大が現在行っている活動
 - UEC WOMANの発行
 - 女子学生のための就職支援セミナー
 - UEC WOMAN就学支援特別奨学金
 - 女子学生向け選書
 - 女子学生寮の設置
 - 学内保育園の設置

etc...

UEC WOMAN

年1刊 (最新はNo.4)

◆ 内容

- OGインタビュー
- 学生インタビュー

◆ 入手方法

- 広報課
- テレメール





女子学生のための 就職支援セミナー

年1回 7月開催
約50人が参加

UEC WOMAN奨学金



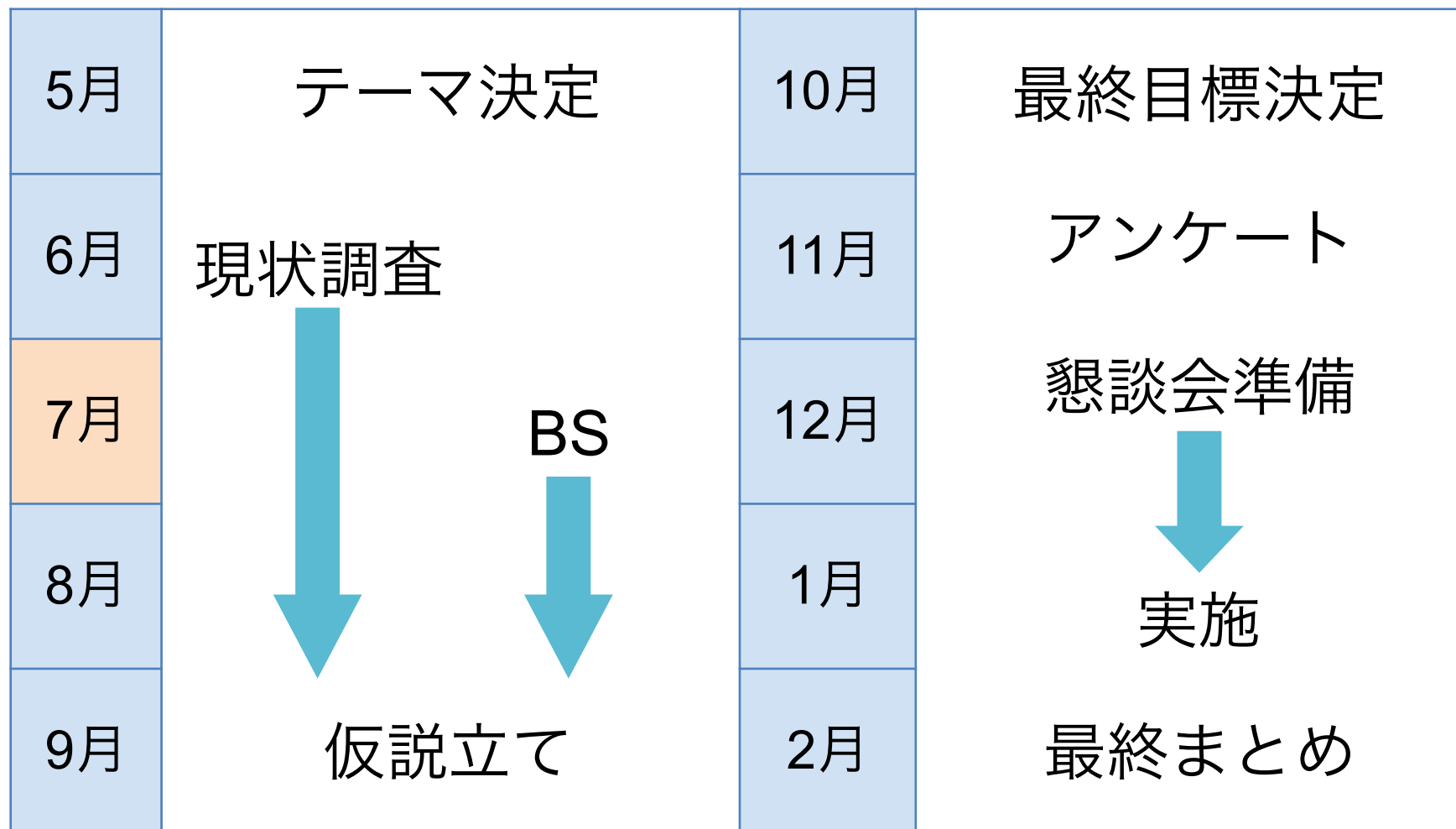
男女各10人
最大50万円
授業料免除

女子は更に
5人選出

2年次進学の際
+50万円

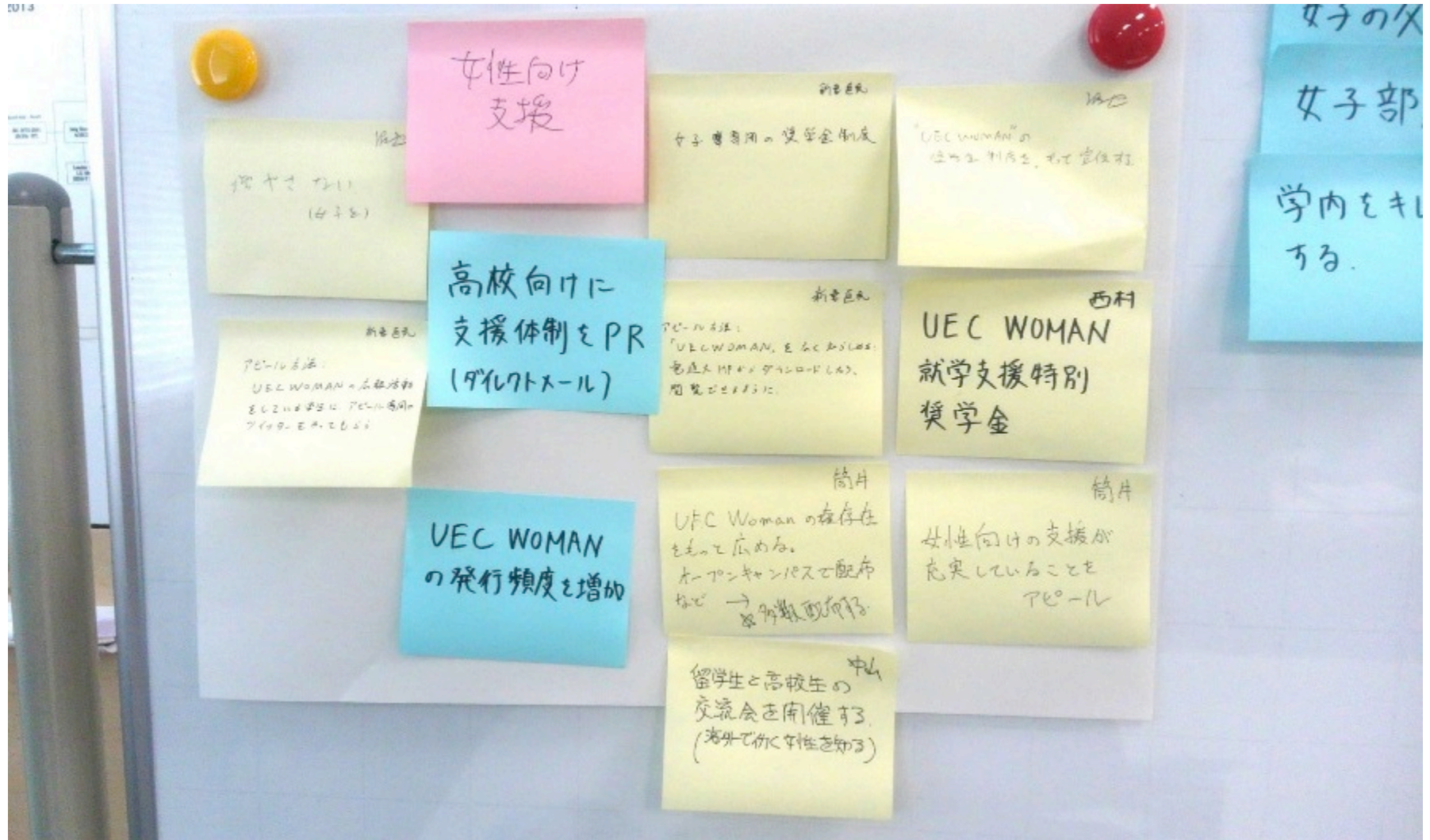
最高100万円

スケジュール



ブレインストーミング

2018



電通大の良いところ



東京にある

高い就職率
就職支援

国立大学
(学費が安い)

専門性が高い

女性に対する
支援が充実

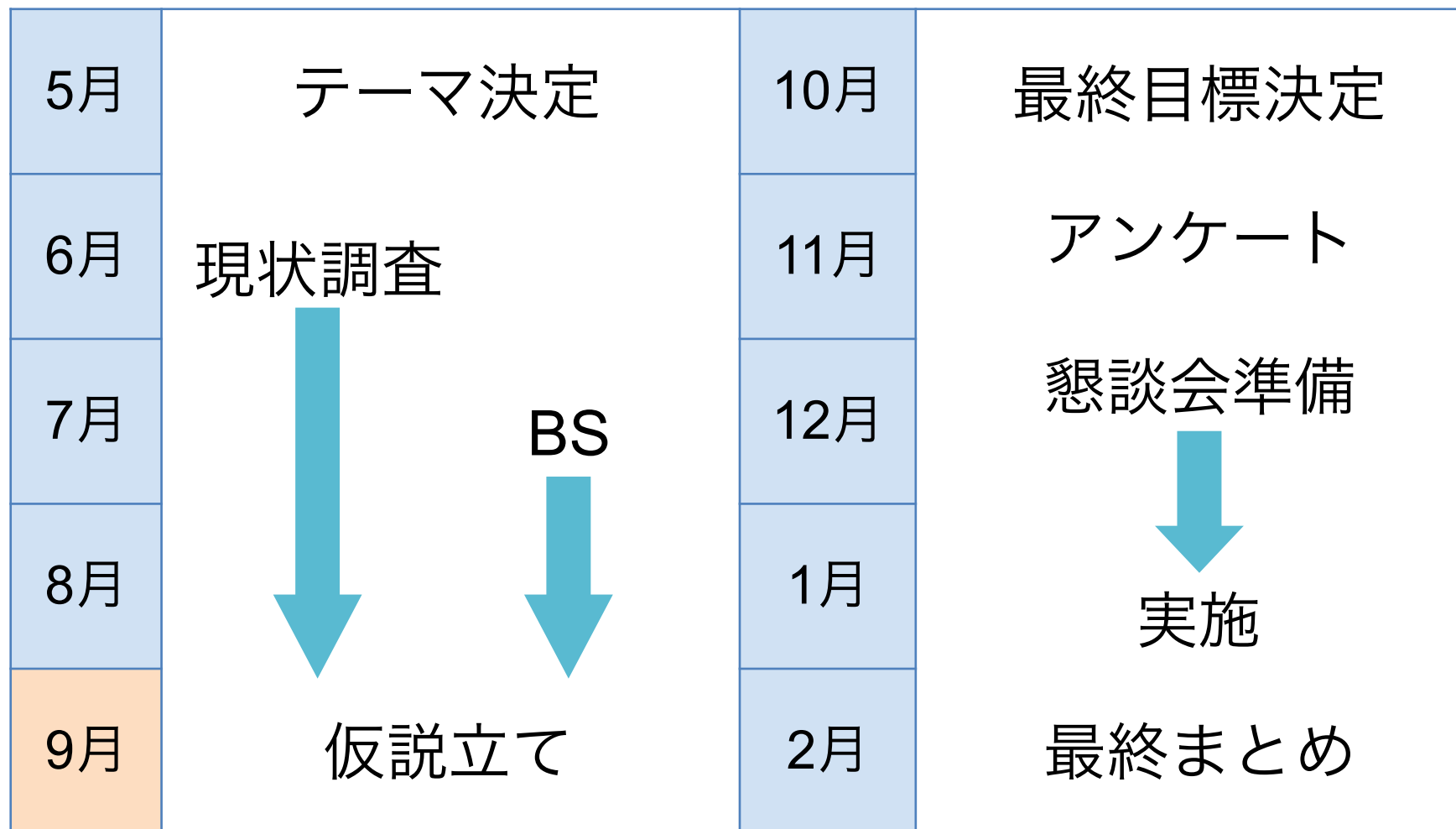
電通大の悪いところ

知名度が低い

制度があまり
利用されない

女性が少ない

スケジュール



仮説立て

- ◆地方の学生は電通大を知らない
- ◆地方へ向けて情報発信すれば知名度アップ
(OB・OGが母校へ帰ってPR)
- ◆両親は「女性エンジニア」のイメージがない
ロールモデルの必要性
- ◆UEC WOMANはあまり知られていない
インターネット上で閲覧可能にすれば広まる
発行頻度・情報量が増えれば見てもらえる確率
がUP

- ◆ 理系に興味を持つ女子学生が少ない
小中学生を対象にしたワークショップを開いて
理系に興味を持ってもらう
- ◆ 女子に魅力的な学科が少ない
化学系、薬学系を増設すれば自然と惹きつけられ
られる
- ◆ 入学者の入学動機などに変化がありそう
ここ数年、女性入学者は増加傾向にある
アンケートをとって増えた「きっかけ」を知り、その
部分を伸ばす

イベント案

◆ 母校訪問

- 女子学生が出身高で電通大を宣伝
- 交通費を大学側が一部負担

◆ 体験授業

- 高校生に電通大の講義を体験

イベント案

◆理系体験イベント

- 小中学生を対象とした科学実験を開催

◆SNSアカウント

- 学生が大学生生活について発信

スケジュール

5月	テーマ決定	10月	最終目標決定
6月	現状調査	11月	アンケート
7月	↓	12月	懇談会準備
8月	BS ↓	1月	↓ 実施
9月	仮説立て	2月	最終まとめ

アンケートの目的

電通大入学者の女子率

9% → 13%

学部3年 1年

- ◆ 仮説の評価
- ◆ 学部生に対する現状把握
- ◆ 今後のPJ活動における方向性の確定

アンケート概要

- ◆日時：H25年11月18日（月）
- ◆対象：学部1年・3年の女子学生
（キャリア教育演習及びリーダー受講者）
- ◆方法：11月18日にアンケート用紙を配布
同22日まで待機後、回収・集計
回答方法はWEBもしくはアンケート用紙
- ◆配布数：181
- ◆回答数（回答率）：48（27.1%）

アンケート内容

入学理由

電通大を知った時期
及び、きっかけ

出身地

UEC WOMANに
ついて

アンケート内容

女子学生を増やそうPJ アンケート

あなたの学年を教えてください

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年

あなたの出身都道府県を教えてください

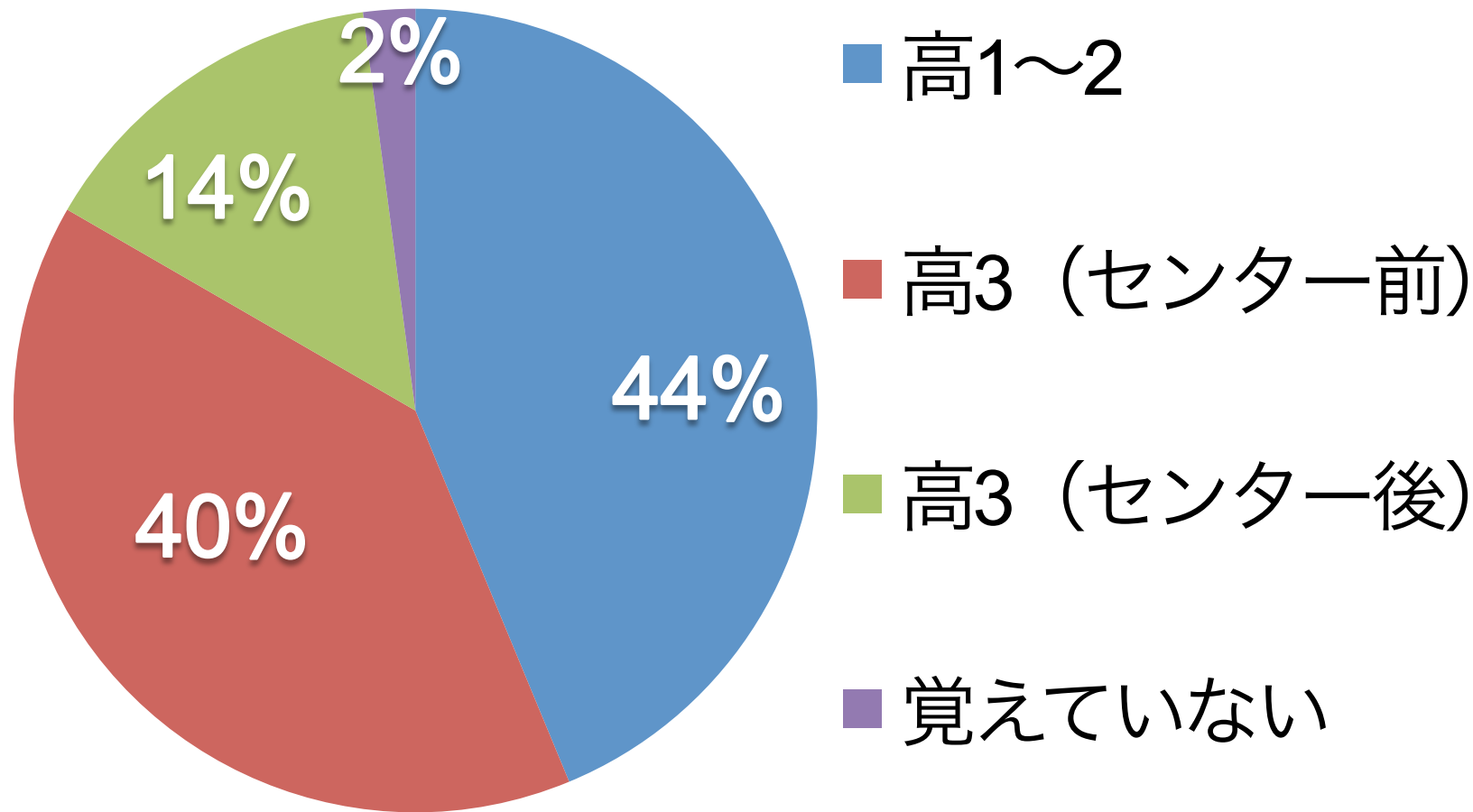
電気通信大学の存在を知ったのはいつですか

- 高校3年(センター試験前)
- 高校3年(センター試験後)
- 高校1年～2年
- 中学以前
- 覚えていない

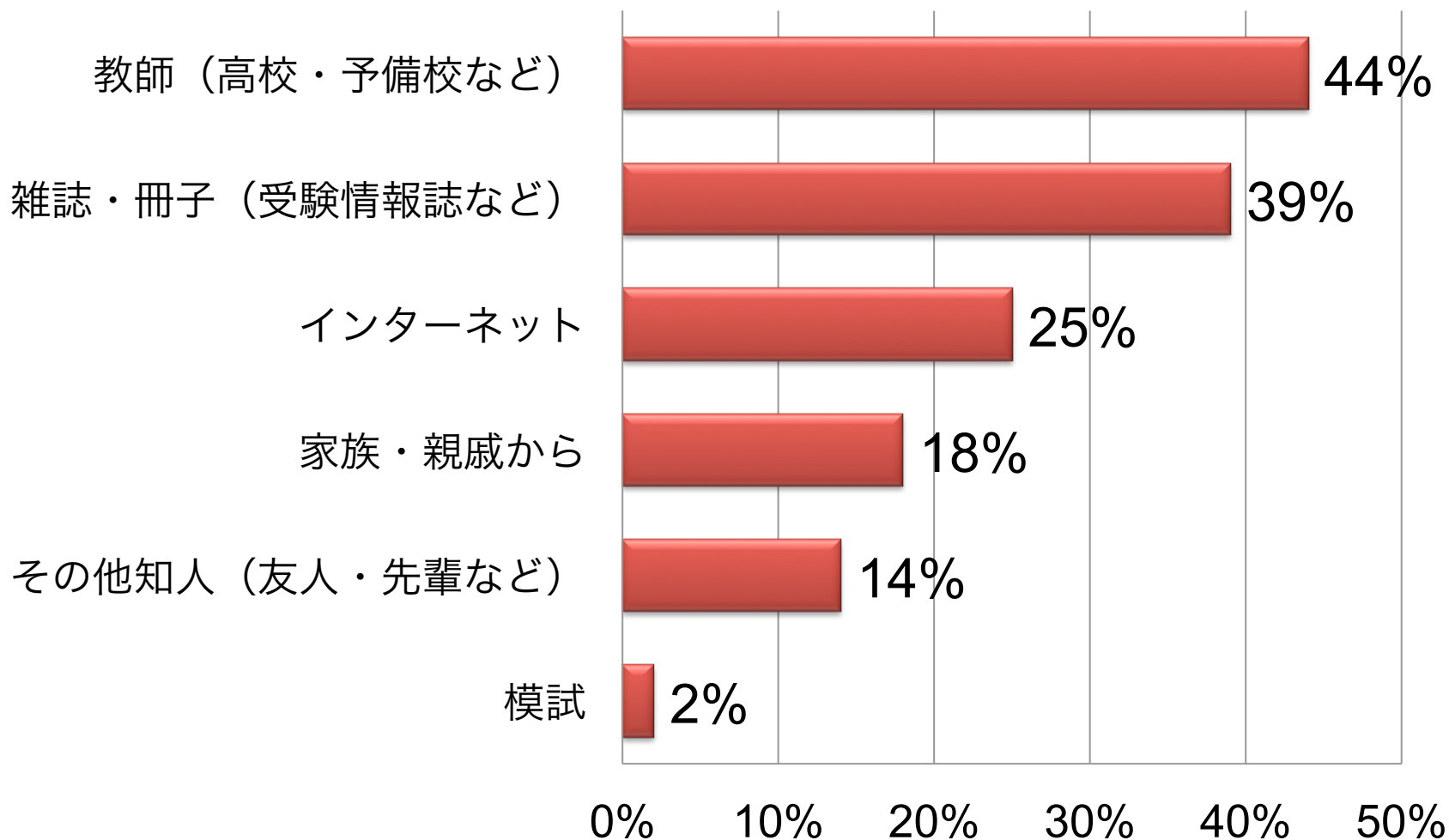
電気通信大学の存在をどのように知りましたか
複数選択可

- 親・親戚から聞いた

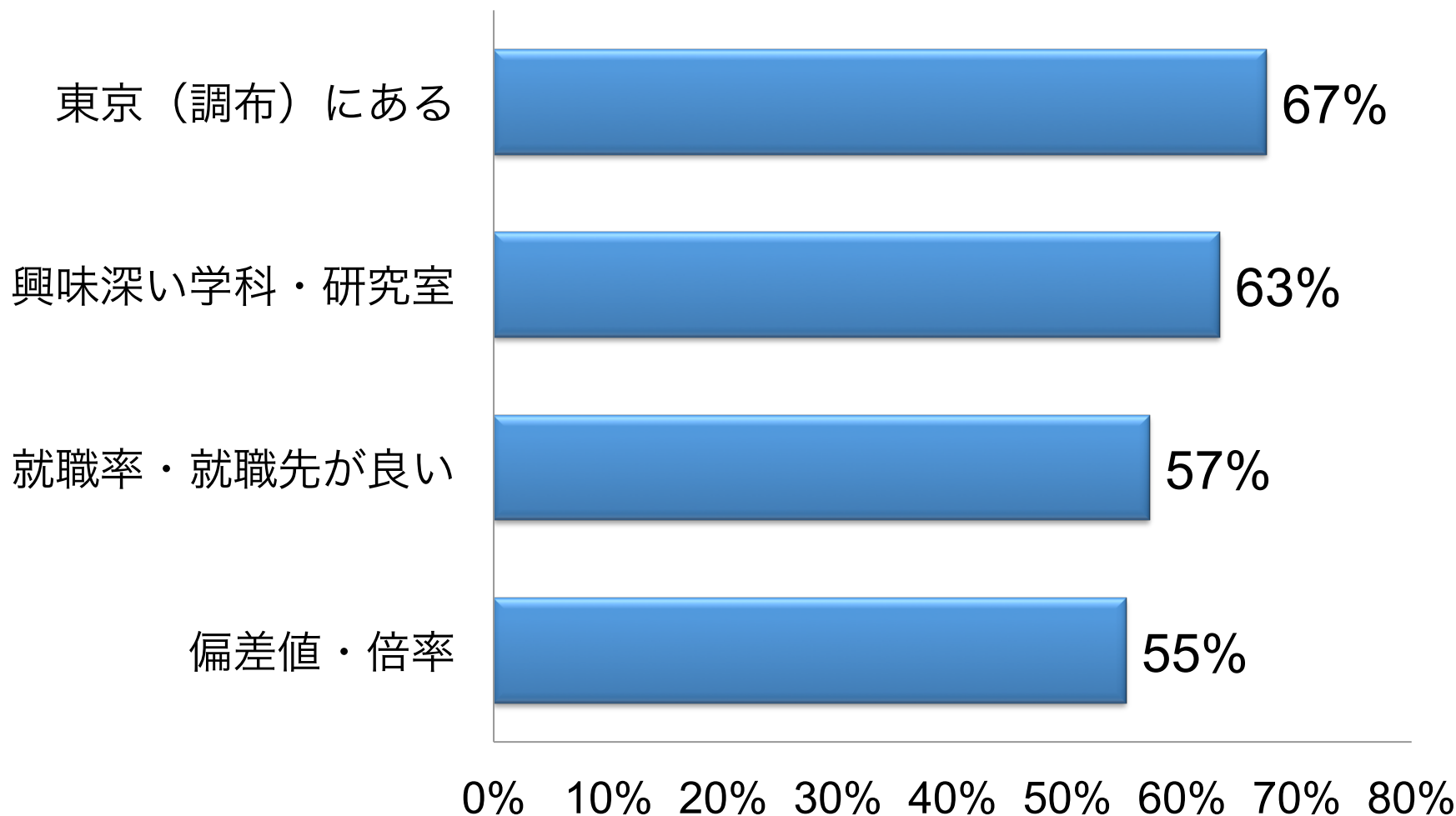
電通大を知った時期



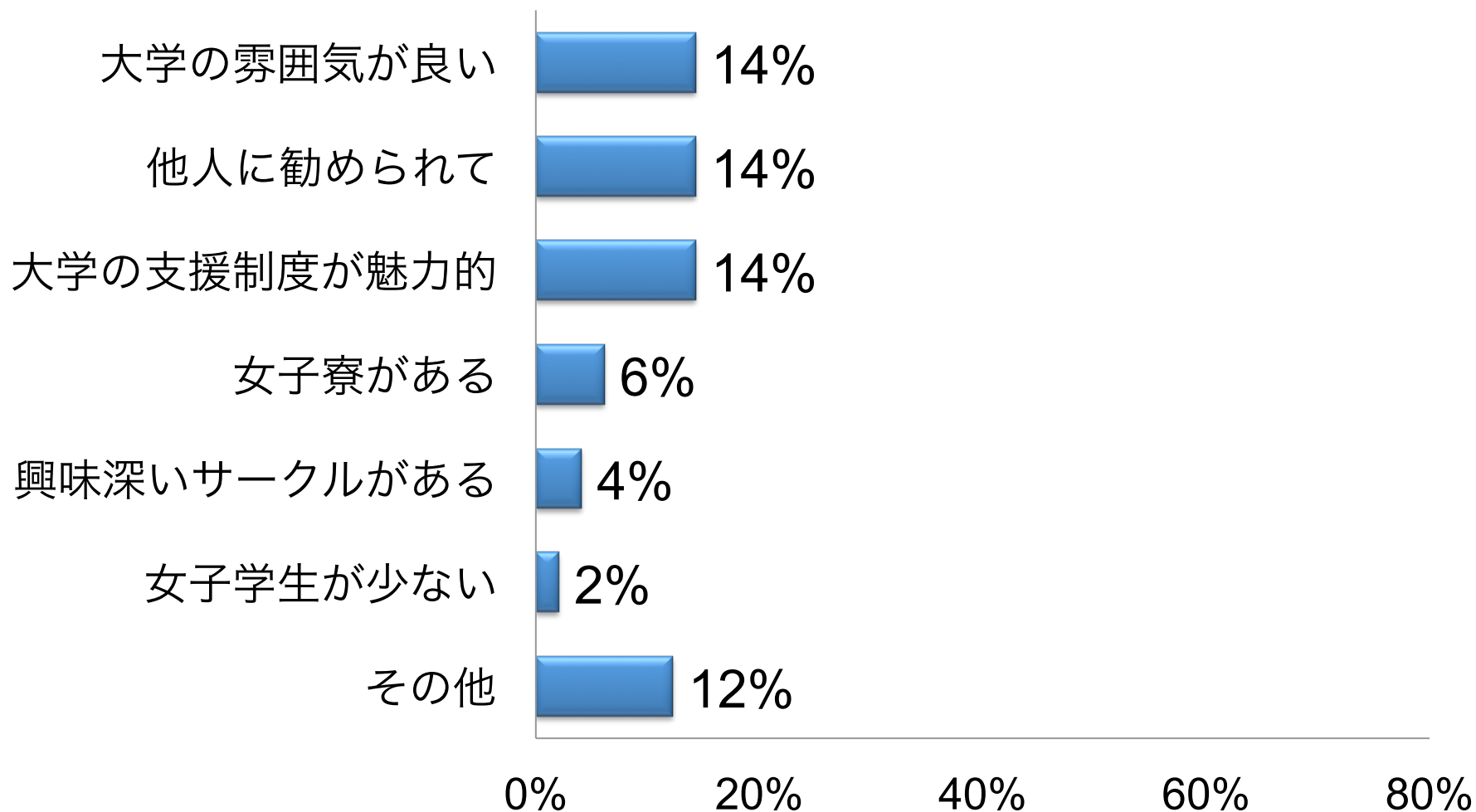
電通大を知ったきっかけ



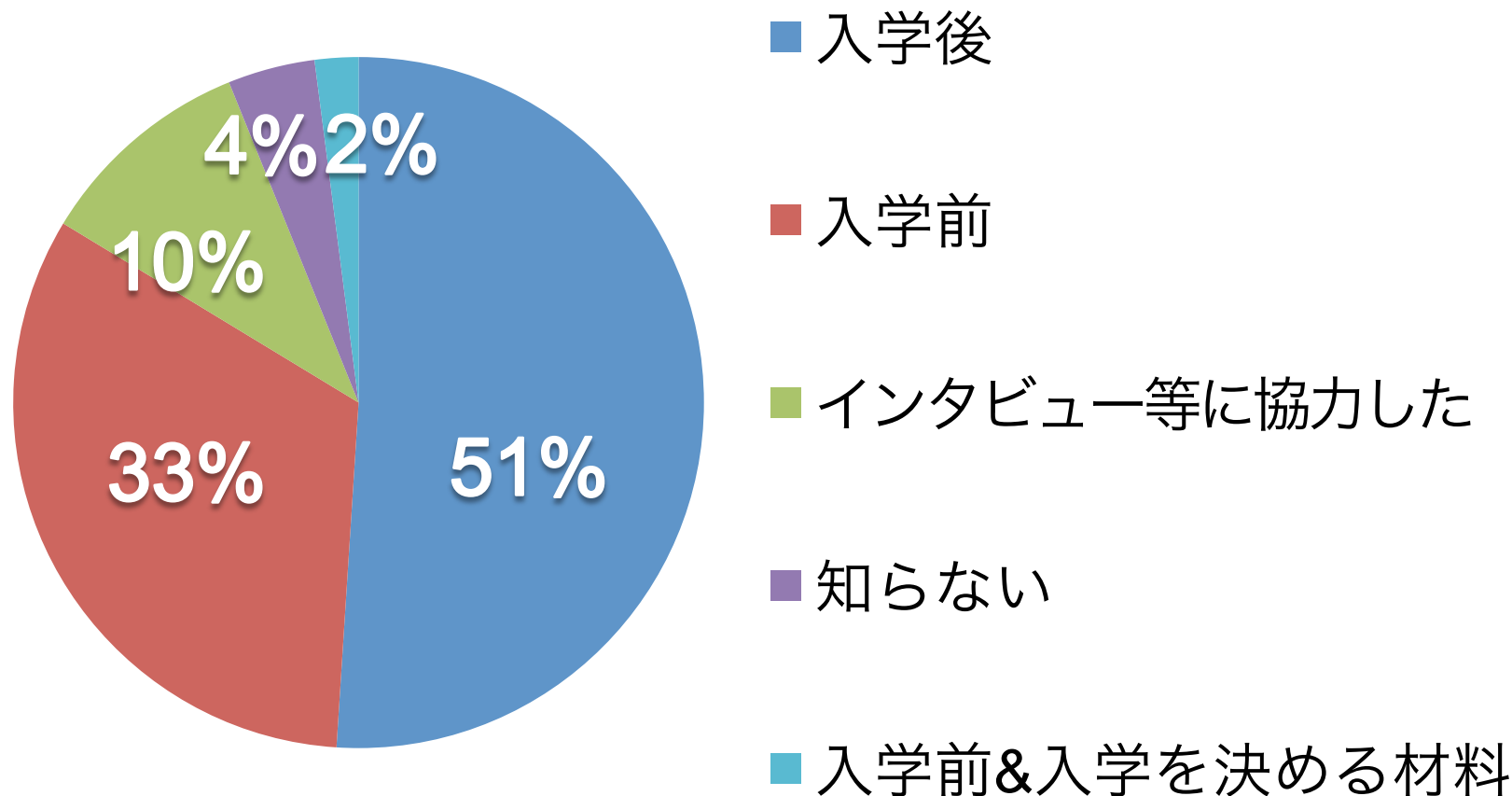
入学理由（上位）



入学理由（下位）



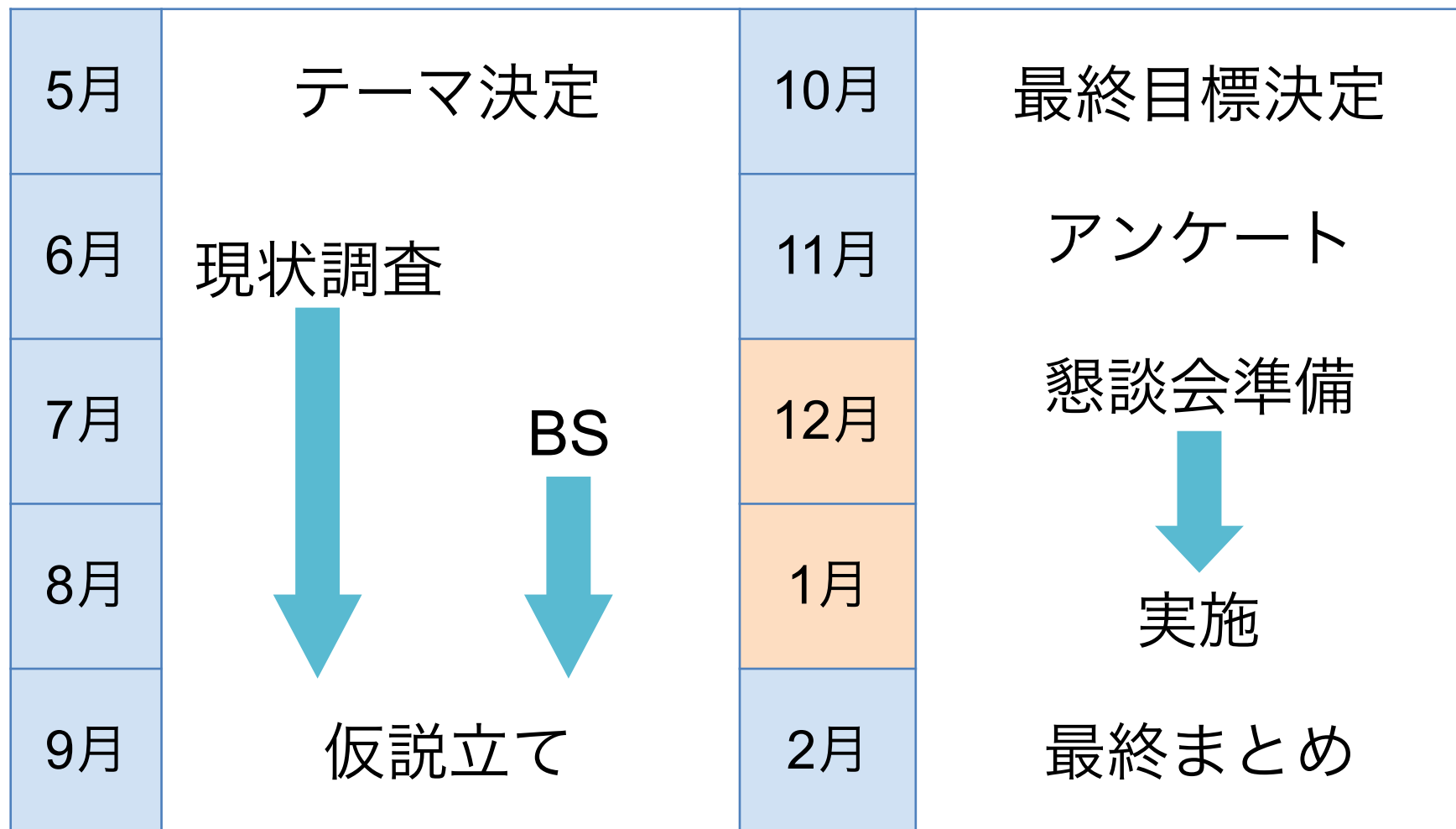
UEC WOMANを知った時期



アンケート結果より

- ◆高1～2で電通大を知る人が44%
→受験生は電通大を早い段階で知っていた
- ◆教師の影響が大きい
→アピール対象を学生から教師に変える
- ◆UEC WOMANを入学前に知った人は33%
→より多く広める必要がある

スケジュール



PJメンバーは男性のみ



意見が偏ってしまっている可能性



外部との懇談会を実施

女性研究者支援室との懇談

女性研究者支援室	現役女子学生	広報センター
1月14日	1月24日	1月28日
小舘先生 島先生 菅野先生	小林さん 水野さん 中島さん	田中先生 井田さん 平野さん

女性研究者支援室

◆主な目的

- 自分たちのPJについて意見をもらう
- 女性研究者支援室の考え方を教えてもらう

◆協力してくれた方

- 小舘先生
男女共同参画推進本部 特任教授
- 島先生
女性研究者支援室 室長・特任教授
- 菅野先生
女性研究者支援室 研究推進員・特任准教授

現役女子学生との懇談

女性研究者支援室	現役女子学生	広報センター
1月14日	1月24日	1月28日
小舘先生 島先生 菅野先生	小林さん 水野さん 中島さん	田中先生 井田さん 平野さん

女子学生懇談会

◆主な目的

- 女子学生の生の声を聞く
- 自分たちの活動について意見をもらう

◆協力してくれた方

- J科3年 小林さん
- J科3年 水野さん
- J科1年 中島さん



広報センターとの懇談

女性研究者支援室	現役女子学生	広報センター
1月14日	1月24日	1月28日
小舘先生 島先生 菅野先生	小林さん 水野さん 中島さん	田中先生 井田さん 平野さん

◆主な目的

- 広報の活動について聞く
- 自分たちの活動について大学側の意見を頂く

◆協力してくれた方

- 田中先生（副学長・広報センター長）
- 井田さん（研究協力課・前広報係長）
- 平野さん（広報係長）

3回の懇談会のまとめ

- ◆ 「地方の学生は電通大を知らない」
 - 関東圏と地方で知るきっかけに差はない
→ 大学一覧などは全国共通
 - 広告はほとんど出していない



**電通大はクチコミ大学
クチコミを加速させる方策を考える**

3回の懇談会のまとめ

- ◆ 「理系に興味を持つ女子学生が少ない」
 - 生物・化学に興味を持つ人は多い
 - 親や教師は文系が多い
 - 理系に触れる機会が少ない



**理系女子の”ロールモデル”を周知させる
理系に興味を持ってもらうイベントの開催
生物・化学系の新学科の設立**

3回の懇談会のまとめ

- ◆ 「UEC WOMANがあまり知られていない」
 - 発行時期は進路指導を考慮している
 - 両親をターゲットにした内容
 - 女子学生の入学材料になるかは微妙
 - そのままPDF化したものをWeb公開は無理



**より広い範囲に配布する方策を考える
内容を変更したWeb版の公開について検討する**

3回の懇談会のまとめ

- ◆ 「母校訪問」について
 - 女子学生 「交通費が出るならやってみたい」
 - 生の声は重要である
 - 教員の招待は既にやっている

- ◆ 「理系体験イベント」について
 - 女子学生 「報酬が出るならやってみたい」
 - 目黒会との連携も視野に入れる

3回の懇談会のまとめ

- ◆ 「体験入学」について
 - 授業を選ぶ必要がある
 - 内容は大学生レベルのものにする

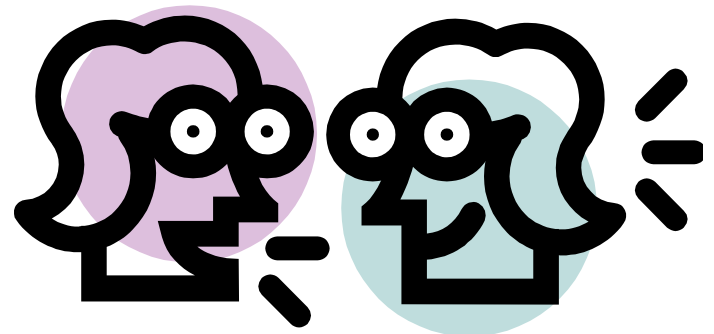
- ◆ SNSアカウントについて
 - 公式がやるとどうしても堅くなる
 - 非公式アカウントに情報提供は可能

やるべきこと

- ◆電通大のクチコミを加速させる
- ◆理系女子のロールモデルを周知させる
- ◆UEC WOMANをもっと広める
- ◆理系に興味を持ってもらう
- ◆新たな学科を設立する
- ◆電通大のイメージアップ

母校訪問(学生)

- ◆女子学生が出身高校で説明
 - 後輩・進路担当の教員が対象
 - 大学が交通費を負担
 - ・参加者が募りやすくなる



SNSでPR(学生)

- ◆電通大の学生がSNSで投稿する
 - 学生目線での電通大が見られる
 - 公式の情報も流す



やるべきこと

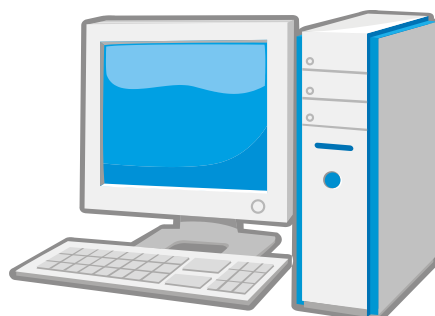
- ◆電通大のクチコミを加速させる
- ◆理系女子のロールモデルを周知させる
- ◆UEC WOMANをもっと広める
- ◆理系に興味を持ってもらう
- ◆新たな学科を設立する
- ◆電通大のイメージアップ

◆Web版UEC WOMANの公開

- OGのインタビューなど

◆母校訪問で合わせて配布

- 両親まで行き渡るように



やるべきこと

- ◆電通大のクチコミを加速させる
- ◆理系女子のロールモデルを周知させる
- ◆UEC WOMANをもっと広める
- ◆理系に興味を持ってもらう
- ◆新たな学科を設立する
- ◆電通大のイメージアップ

体験入学

- ◆大学の授業に参加してもらう
 - 学生に人気の授業や実験に絞る
 - 大学が交通費を負担
 - ・参加者が募りやすくなる



やるべきこと

- ◆電通大のクチコミを加速させる
- ◆理系女子のロールモデルを周知させる
- ◆UEC WOMANをもっと広める
- ◆理系に興味を持ってもらう
- ◆新たな学科を設立する
- ◆電通大のイメージアップ

新しい学科

- ◆ S科の研究室の拡大と学科名の変更
 - 生物・化学系の研究室を多く取り入れる
 - かなり長期的
 - 大学の多様化も期待できる

やるべきこと

- ◆電通大のクチコミを加速させる
- ◆理系女子のロールモデルを周知させる
- ◆UEC WOMANをもっと広める
- ◆理系に興味を持ってもらう
- ◆新たな学科を設立する
- ◆電通大のイメージアップ

企業テナント

◆学生が使いやすい企業テナントを導入する

- 他大学では既に行われている
 - ・東京大学
(スタバ、サブウェイなど)
 - ・筑波大学 (スタバ)
- 大学に華やかさが出る



まとめ

今年度

- ◆アンケートの実施
- ◆インタビューの実施
- ◆提言書の作成

来年度

- ◆女子高のターゲットニング
- ◆学生・男女参画・広報で三位一体となり
計画・実行する

最後に...



皆さんが電通大の広告塔に
なりましょう！

謝辞

- ◆ キャリア教育演習事務局の皆様
- ◆ 広報センターの皆様
- ◆ 女性研究者支援室の皆様
- ◆ 大学生協の皆様
- ◆ アンケート・インタビューにご協力
いただいた女子学生の皆様
- ◆ ed-teacherの皆様